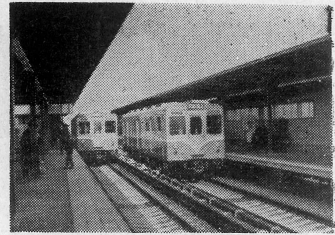


# 鉄道ピクトリアル

1962年1月号 Vol. 12 No. 1  
[新年特大号]



大阪地下鉄4号線開通

## 今月の話題

### 62年は地下鉄網建設時代

62年は、重大段階に直面した都市交通政策の重要な使命を担って、日本の地下鉄はその建設網の一大飛躍台に立とうとしている。

すなわち、東京都では昨11月1日営団地下鉄は4号線新中野—南阿佐ヶ谷間(3.1キロ)に引きつづき、南阿佐ヶ谷—荻窪間(1.8キロ)を、予定より約2カ月も繰上げて1月23日開通するのをはじめとし、中野富士見町—方南町(2.7キロ)を開業させ、国鉄中央線の殺人的混雑緩和に一役買うほか、3月には同2号線仲御徒町—人形町間(2.7キロ)と北千住—南千住間(1.9キロ)を同時開通、また都営地下鉄も人形町—浅草橋間(1.7キロ)をこれと歩調を合せて開通させるので、12月営団人形町—築地間(2.1キロ)が予定どおり開通すると、明年3月開通予定の築地—東銀座(0.6キロ)の完成と共に待望の「下町」に高速鉄道網らしい体制の緒ができてくる。かくて、おそくも年内か明春3月までには、営団地下鉄を中心とする都営地下鉄1号線・東武・京成の相互乗り入れもしくは交差連絡ができることになる。

大阪市では、旧ろう12月11日、4号線弁天町—大阪港間(3.4キロ)を開業、日本最初の様式である都市計画街路の中央分離帯に高速鉄道を走らせ国鉄環状線との連絡を図るなど、東京16.6キロ、大阪3.4キロ計20キロに及ぶ地下鉄を1年そこそこで実現させることは、日本地下鉄史上稀有の出来事である。

このほか、名古屋市の東西線建設第3期工事の池下—東山間(2.6キロ)が明年3月開通を目標に進み、神戸市でも阪神・阪急・山陽が直通相互乗り入れする施設の実現もすでに着工をみているので、62年はまさに地下鉄建設ブームを現出しうるのである。

表紙「伊豆の開拓使」 岸 幸男  
36-11-28 伊豆急富戸駅付近  
ミノルタオートコード F3.5 f6.3 1/100 フ  
ジカラー

カラー写真「恵比寿付近をゆくカナリア電車」36-11-6 加藤 茂樹  
ミノルタオートコード F3.5 f4.1/100 フ  
イルタースカイライト エクタクローム E2

## グラフ

62年よこんにちは	佐竹 保雄	11
雪三題	中新井章・山田信夫・小川峯生	12
排雪列車	瀬古竜雄・国鉄提供	14
防雪施設のいろいろ	国鉄 提供	16
<児童劇映画>なかよし特急	尾上 清	18
開通を待つ伊豆急行	久原秀雄提供	43
モスクワの路面電車	杵屋 栄二	44
モスクワの地下鉄	杵屋栄二提供	45
レニングラード・ハバロフスクの路面電車	杵屋 栄二	46
雪の日の東京	高松吉太郎	48
希望をのせて	小川 峯生	50
鶴見臨港地帯の機関車	益井 茂夫	52
大阪市電	野村董・久保田正一	54
京阪電気鉄道〔その1〕	高松吉太郎・湯口徹提供	56
サウジアラビアの鉄道	津田 隆章	58
わだいのくるま (110) 国鉄新鋭通勤形気動車キハ35形		83
トピックフォト (関東だより・大阪地下鉄4号線開通特報、関西だより、中部だより、九州・中国だより)		84~89
わだいのくるま (111) 国鉄ラッセル雪カキ兼用ディーゼル機関車DD15形		90

## 記事

今月の話題「62年は地下鉄網建設時代」		3
1号機関車ものがたり	今村 潔	4
モスクワ・レニングラードの電車	杵屋 栄二	8
踏切事故防止PR映画「マスコットのねがい」		19
雪と斗う国鉄〔施設編〕	柏木 弘	20
雪と斗う国鉄 雪カキ車〔1〕	村井 健三	24
斗雪の思い出	田中 隆三	27
鶴見・川崎工業地帯の専用線・引込線	益井 茂夫	28
伊豆急試乗記	生方 良雄	31
<特急基地をたずねて>〔2〕田町電車区	沢柳 健一	34
サウジアラビア紀行	津田 隆章	38
鉄道の話		42
京阪電気鉄道〔1〕私鉄車両めぐり〔48〕	同志社大学鉄道同好会	59
大阪市電三代記<5大市電めぐり>〔その5〕	野村 董	67
台車のすべて〔国鉄編〕<1>	吉雄 永春	71
鉄道切手100年誌〔1〕	荒井 誠	74
「新しい日本の電車」撮影メモ	高松吉太郎	77
質問に答える		78
読者短信		80
11月のメモ帖		82
車両の動き		91
TTKだより、後部車から		93
鉄道ピクトリアル総主要目次(昭和36年)		94